

県立裾野高校の再編・統合に対し、  
県へ毅然とした抗議を行うことを求める決議

静岡県教育委員会は、裾野市、御殿場市、小山町を対象とした北駿地域協議会において、裾野高校・御殿場高校・御殿場南高校の3校を統合し、新たな単位制高校を御殿場南高校の校地に設置するグランドデザインを示し、知事は、新設校の令和14年度の開校予定の前倒しを指示したとの報道もなされている。

そもそも裾野市は、中駿地区であり、病院や企業名にも「中駿」が長らく使用されてきている。市外から裾野高校へ通学する生徒は、北駿地域よりもむしろ三島市や南駿エリアの方が多く、高校再編を北駿の枠組みで論じられること自体が実態を反映しておらず、多くの市民が違和感を覚えている。

グランドデザインの発表から半年以上経過したが、地元住民への説明会等は一切開催されておらず、多くの市民から、県の対応は一方的で不誠実であるという声が上がっている。

裾野市及び裾野市民にとって、身近な進学先が失われ、通学に要する時間や費用の負担が増し、各種イベントへの参画、地元企業とのつながりが希薄となるなど、直接、間接の影響は深刻である。

裾野市議会は、グランドデザインの推進によって見込まれる様々な影響と、市民の声に鑑み、以下決議する。

1. グランドデザインに関する住民説明会の早期開催を県教育委員会に求めること。
2. 裾野市から県立高校が無くなることに対する裾野市の反対意見を県に提出すること。

令和8年2月25日

静岡県裾野市議会